



会 議 録

八幡市教育委員会

開催日時	令和4年10月18日（火曜日） 午後3時～午後15時37分		
場所	分庁舎2階 会議室A		
出席委員名	小橋 秀生（教育長） 橋本 陽生（職務代理者） 佐野 恵理子	八頭司 めぐみ 狩野 理恵子	
委員を除く出席者の職・氏名	部長 辻 和彦 部付部長 田中 孝治 部次長 佐野 泰博 （生涯学習センター館長事務取扱） 教育総務課長 長尾 忠行 学校教育課長 西岡 賢治 社会教育課長 辻 博之 文化財保護課長 田 制 亜紀子	保育・幼稚園課長 成田 孝一 教育支援センター所長 濱田 将行 教育集会所館長 畑中 敏之 図書館長 南本 晃 学校教育課主幹 有野 靖一 教育集会所主幹 田原 麻衣 教育総務課主幹 西田 秀美	

1. 開 会

2. 報 告 事 項

- | | | |
|-------------------------------|---------|-------|
| (1) 第六回徒然草エッセイ大賞について | (社会教育課) | ※資料1 |
| (2) 食材価格高騰に伴う学校給食費助成について | (学校教育課) | ※資料なし |
| (3) 図書館協議会会長及び副会長の選任について | (市民図書館) | ※資料2 |
| (4) 八幡市民図書館及び男山市民図書館の臨時休館について | (市民図書館) | ※資料なし |

3. 議 題（協議事項）

- (1) 八幡市の教育行政について

4. その他

- ・園、学校訪問について

5. 配布資料について

- ・9月議事録（写し）

5. 閉 会

※次回定例教育委員会

日時：11月15日（火）午後3時から

場所：分庁舎2階 会議室A

※学校訪問先 男山東中学校（10：30）、男山中学校（11：30）



	内 容
[教 育 長]	<p>1. 開 会 それでは、令和4年10月度の定例教育委員会を開催いたします。</p>
	<p>2. 報告事項をお願いします。報告事項(1)「第六回徒然草エッセイ大賞について」、事務局より報告願います。社会教育課。</p>
	<p>2. 報 告 事 項</p>
	<p>(1) 第六回徒然草エッセイ大賞について</p>
[辻 課 長]	<p>報告事項(1)第六回徒然草エッセイ大賞について、ご報告いたします。恐れ入りますが、資料1をご覧いただきたいと存じます。</p>
	<p>このたび、「願い」をテーマに、本年6月3日から9月22日まで作品募集を行い、応募総数が確定しましたのでご報告いたします。応募総数は、2,698通で、その内訳は、一般の部1,526通、中学生の部665通、小学生の部507通となっております。</p>
	<p>今後につきましては、1次選考、2次選考、最終選考を経て、来年2月上旬に受賞作品を決定する予定でございます。</p>
	<p>なお、授賞式でございますが、令和5年3月18日、石清水八幡宮 清峯殿にて開催を予定しております。以上、ご報告させていただきます。</p>
[教 育 長]	<p>ただ今の報告事項につきまして、委員よりご質問等はございませんか。</p>
[狩 野 委 員]	<p>今年度もたくさんの方が、応募してくださって、新聞にも広告が出ていたのを見ましたが、本当に広めていって欲しいと思っている次第です。</p>
	<p>去年と比べて応募件数は、どのような推移を示していますか。</p>
[辻 課 長]	<p>去年と比べまして応募総数は、今年度2,698通ですが、昨年度は、2,733通となっております。</p>
[教 育 長]	<p>他に何かご意見、ご質問等はございませんか。</p>
[橋 本 委 員]	<p>私も、徒然草エッセイ大賞については非常に注目しておりまして、多くの方が参加していただいていると、市内の小・中学校からも多くの応募があるということですがけれども、学校側の徒然草エッセイ大賞についての評価はどのようになっていますか。</p>
	<p>それから、第1回から見まして、第4回は少し増えたようではありますが、数的にはだいたい一定数に固定してきているようですが、応募者については、同じ方が、あるいは同じ団体が繰り返しになってきているのでしょうか。あるいは、毎年新たな応募者が出てきているのか、今ここでは、なかなか分からないと思いますけれども、もし、その辺りの特徴が分かるようであれば、教えていただければと思います。</p>
[辻 課 長]	<p>学校での評価でございますけれども、取組として、国語の授業、あるいは総合的な学習時間等に位置づけまして、一定、指導を入れられてから確実に対応していただいているということでございます。時期的な問題も、いろいろあるかと思えます。学校によっては、夏休み前に少し指導をしていただいて、それを夏休みの宿題、課題にさせていただいたり、それぞれの学校で対応が異なっている状況でございます。</p>
	<p>成果としまして、学校のほうからは、子どもたちの資質能力といいますか、そういうものに繋げていくことができる事業であると同っております。</p>
	<p>もうひとつは、同じ方が応募されているかということですがけれども、前段の第五回について調べた際には、複数名、何人かは同じ方が応募されているという調査結果が出ていますが、今回の第六回については、現在のところ調査できておりません。</p>
[橋 本 委 員]	<p>同じ方が毎回、応募していただいているのも、非常に大事なことでありますし、新たな方が、入れ替わり立ち代わり応募していただいている、これも違う広がり期待できるということでございます。広報については十分に広く浸透させて、伝統的なものとして知られるように、努めていただきたいと思います。</p>
	<p>それから、小・中学校では多くの時間を割いて、労力を使っていただいておりますので、この事業が教育に繋がると、成果に表れるというようなことが、非常に望ましいことであります。自分の生活の気づきを誰もが持って、それをこの一定の文章の中で表現するというの</p>



	<p>は、非常に大きい意味があると私は思いますので、今後とも、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。</p>
[教 育 長]	<p>他にご質問等はございませんか。無いようでありますので、次に、(2)「食材価格高騰に伴う学校給食費助成について」、事務局より報告願ひます。学校教育課。</p>
[西 岡 課 長]	<p>(2) 食材価格高騰に伴う学校給食費助成について 報告事項(2) 食材価格高騰に伴う学校給食費助成について、学校教育課からご報告申し上げます。</p> <p>現在、給食費の1食あたりの単価は、小学校で240円、中学校で280円とし、小学校では、平成21年度の給食費改定、中学校では、中学校給食開始時の平成29年度から価格を据え置いて実施しております。</p> <p>この間、食材費の変動に対しましては、同じメニューであっても、牛肉を安価な豚肉に変更する、高価なフルーツやデザートの使用回数を減らすなど、食材選定の創意工夫により対応し、コロナでの対応を除きまして、徴収した給食費で品数を減らすことなく実施してまいりました。しかしながら、コロナ禍におきまして、原油価格・物価高騰が続いており、こういった対応も困難となることを想定しまして、今年度、学校給食会計への助成を行うことといたしました。</p> <p>助成対象といたしまして、期間を令和4年8月29日から令和5年3月22日、2学期・3学期分です。小中学校の児童生徒数の食数で算出しております。金額は、現行の給食費の10%にあたる、小学校で1食あたり24円、中学校で28円、総額で、小・中学校あわせまして、1,500万円、財源としまして、国の地方創生臨時交付金を10/10充当することといたしまして、八幡市議会第3回定例会にて補正予算を可決いただきました。</p> <p>現在、11月中旬の補助金交付に向けまして、補助金交付要綱を作成し、各学校からの補助金交付申請による助成手続きを進めているところでございます。</p>
[教 育 長]	<p>以上、学校教育課から報告いたします。</p> <p>ただ今の報告事項について、委員よりご質問等はございませんか。</p>
[南 本 館 長]	<p>無いようでありますので、次に、(3)「図書館協議会会長及び副会長の選任について」、事務局より報告願ひます。市民図書館。</p> <p>(3) 図書館協議会会長及び副会長の選任について 報告事項(3) 図書館協議会会長及び副会長の選任について、ご報告申し上げます。</p> <p>恐れ入りますが、資料2をご覧ください。</p> <p>図書館協議会に会長及び副会長につきましては、令和3年12月の委員改選以降、協議会の開催が無く、選任ができていない状態でしたが、去る10月4日開催の令和4年第1回協議会において、会長に小牧 久仁(こまき くに)氏、副会長に吉川 栄樹(よしかわ えいき)氏が、それぞれ互選されましたので、ご報告申し上げます。</p>
[教 育 長]	<p>ただ今の報告事項につきまして、委員よりご質問等はございませんか。</p>
[南 本 館 長]	<p>無いようでありますので、次に、(4)「八幡市民図書館及び男山市民図書館の臨時休館について」、事務局より報告願ひます。市民図書館。</p> <p>(4) 八幡市民図書館及び男山市民図書館の臨時休館について 報告事項(4) 八幡市民図書館及び男山市民図書館の臨時休館について、ご報告申し上げます。</p> <p>10月22日、23日の二日間、市庁舎のネットワーク移転工事が実施されることに伴いまして、図書館システムが停止するため、八幡、男山両図書館を臨時休館いたします。臨時休館につきましては、館内にポスターを掲示しているほか、図書館ホームページにて市民周知を図っているところでございます。</p>
[教 育 長]	<p>ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。</p>
[橋 本 委 員]	<p>ただ今の報告事項につきまして、委員よりご質問等はございませんか。</p> <p>ネットワーク移設に伴って、何かサービスが向上できるような形になるのか、変化があるようであれば教えていただきたいと思います。</p>



[南本館長]	ネットワーク移設ですが、旧庁舎から新庁舎にサーバー等を移設する工事であり、特に、サーバーを変える等はございませんので、移設後にサービスにつながるようなものがあるかという点、ございません。
[教育長]	他に何かご質問等はございませんか。無いようでありますので、これにて報告事項を終結いたします。 次に、3. 議題に入らせていただきます。(1)「八幡市の教育行政について」を議題といたします。
	3. 議 題 (協議事項) (1) 八幡市の教育行政について 本日、案件はございませんが、委員の皆様からご意見、ご質問等、何かございますでしょうか。
[狩野委員]	9月24日付の新聞だったかと思うのですがけれども、秋の全国交通安全運動に合わせて、小中学校の給食時にランチオンマットを配布するというような記事を読みました。良いことをされたなと思ったのですがけれども、児童生徒の反響なり、その効果等が何かありましたら、教えていただけたらと思います。
[西岡課長]	秋の交通安全運動に合わせてランチオンマットを配布した取組ですがけれども、八幡警察署のほうから依頼があったものでございます。各校で配らせていただき、ご家庭に持って帰っていただいて、家庭で食事する時の話題にさせていただければというような取組とお聞きしました。その中で、くすのき小学校につきましては、八幡警察署のほうが実際に出向かれまして、学校でも周知・啓発等をしていただいたところではございます。 各校でお配りし、ご家庭へのお持ち帰りということで、目的どおり、ご家庭への啓発をしていただいたというところではお聞きしておりますが、その反響等につきましては、把握はしておりません。
[教育長]	他に何かございませんか。
[狩野委員]	そのランチオンマットというのは、紙ベースで出来たものですか。学校で何度か繰り返し使えるものではないのですか。
[西岡課長]	名前は「ランチオンマット」で「マット」となっておりますが、八幡警察署のほうで作成いただいた紙ベースのもので、使い捨てのような形のものでございます。
[教育長]	他にご意見、ご質問等はございませんか。
[橋本委員]	この秋にいろんなイベントがあつて、市制施行45周年、そして新しい市庁舎ができると、それから、行政の組織改正もされると、八幡市の中では非常に大きな動きがあり、一連の事柄が進められると思っておりますが、学校教育に関わるものは何かあるのでしょうか。小中学校に機会を提供されるようなこと、特にこういう変化が起こるとか、こういうイベントをして、今までには無いような、あるいは今まで実施していたが、より規模拡大をされるというようなものが何かあるのでしょうか。大きな転換点に向けて、なるほどそういうことが啓発され実施されるのかということが分かれば、学校訪問等においても、更に啓発したいと思っております。何か大きな変化、あるいはイベント、あるいは規模拡大したような、何か取組というようなものが、特にあるのでしょうか、無いのでしょうか。
[辻部長]	新庁舎建設のような、新たな大きい取組というのは無いのですが、学校教育での先進的な取組といたしましては、委員の皆様もご存じの通り、屋内運動場、体育館・武道場のエアコン設置、空調設備の設置がございまして、あと小学校が4校残っておりますが、現在のところ、令和5年、6年で全12校、終了する予定でございまして、それにつきまして、子どもたちの声を聴く機会があつたのですが、涼しいところで運動が出来るということで、かなり好評でございました。もちろん、避難所としても活用できますし、今、屋内運動場で空調を整備しているところは、基本、京都府下では、八幡市だけです。そういう意味では、先進的な取組を、かれこれ5年、6年実施させていただいているところでございまして、これから全国的に取り組まなければならないこととしましては、中学校のクラブ活動の地域移行がございまして、これにつきましては、一番大きな課題として、保護者負担の問題がご



ざいます。文部科学省から示されているものがございませんので、なかなか難しいところですが、3年以内という期限もありますので、今後、準備を進めていきたいと考えているところです。もともとは少子化でクラブ活動が学校単位では出来ないと、複数学校で集まらないと出来ないということがあり地域移行となりました。中学校の生徒相手のことですので、試行的な取組というのは、私自身、実施したくないのですけれども、やはり、試行的にやって失敗することになると、その子たちの将来に大きな汚点を残します。そのあたり、舞鶴市等が進んでいるのですけれども、そういう先進地を参考にしながら取り組みたいと考えております。今のところ、そういうことが、学校教育としては大きな命題となっております。

[橋本委員]

私が常々、思いますのは、学校の中でも同じですけれども、いろいろな節目やイベント等の折には、それを取り上げてその意味を語るというようなことが、意識づけとして、子育ての上では、教育上、非常に大切だと思っているのです。八幡市が、市制施行45周年を迎えると、これは節目ですよ。しかも、新庁舎も完成すると。八幡市って凄いんだよ、45年になって市庁舎も新しくなって、より蘇って、いろいろ新しい最新の設備も取り入れて、住民サービスも更に進んでいくんだよ。言い方はいろいろありますが、こういう地元に対する、市民に対する意識向上とか、故郷に誇りを持つとか、こういうような機会、大々的にする必要はないかと思えますけれども、校長先生にも45周年の行事に出席していただいたり、あるいは、そういう意味と故郷を誇りに思う良い機会なので、学校でもそういう指導をお願いすることがあればと、思っているところです。以上です。

[辻部長]

校長先生については、45周年の式典に来賓として来られると聞いております。

先ほど、言い忘れたことがございまして、この夏休みが明けて2学期に入ってから、美濃山小学校の6年生が、市長に対して、八幡市に対する要望のようなものを書こうという取組がございました。市長に直接、子どもたちがいろんな意見を寄せていただいたところがございます。例えば、私が覚えておりますのは、「八幡市の街灯が暗い」とか、なかなかユニークというか、いろんな意見がございました。それを一つひとつ、市長が答えていくのは大変なので、川中次長が市の代表としまして、全般的にお答えさせていただいたところがございます。そして、そのことについては、子どもたちがとても喜んでいただくと、また、八幡市がすごく頑張っているということを知ってもらえたと聞いております。そういう取組というか、授業がございました。

これについては、各校に関わることでございますけれども、このように小学生のうちから、市の行政がどんなことをしているのかということを知ってもらえる良い機会になったなと思っております。それを今後、広げていくかというのは、教育のほうで考えることですが、我々、行政のほうとしましては、大変ありがたい取組だったと、ご報告させていただきます。

[教育長]

他にご意見、ご質問等はございませんか。

[狩野委員]

教育行政になるか分からないのですけれども、9月15日に中央小学校の校内研修で、早稲田大学の田中教授の公開授業がありました。それには、和歌山県橋本市からの視察や、ベネッセ、大阪体育大学の教授もいらっしやっただと思います。私も参加させていただいたので、すけれども、本当に、見事な授業をされました。一年生の子どもの授業を見たのですけれども、45分間、すごく集中して学んでいました。とても良い授業をされているなということで、見させていただきまして、私が、わくわくしたり嬉しかったりと思います。

その中で、こういう素晴らしい取組をされているのを、それこそ市をあげて、いろいろと一緒に学ぶというか、特に、幼稚園、保育園の先生もそこに参加されたら、幼少連携がすごく進むのではないかと、本当に肌で感じました。各学校がいろいろと工夫して、子どもたちの授業の充実を図ったり、先生の質の向上のために、いろんな取組をされているかと思えます。今、架け橋委員会、架け橋特別プロジェクトもできて、幼少接続という部分で、交流とか連携時の接続をすごく大事に言われています。ですので、これを、幼稚園、保育園の先生がたも見られたら良かったのにと、思うような内容の授業参観でした。私にも、少し意見を求めてくださったので、幼児期の教育に携わっている者の立場から、小学校の先



生と幼児期の教育のものとの見方の違いをお話しました。また、良い意味では、今、国が大切にしている幼児期の終わりまでに育てて欲しい姿を、一年生の授業で、しっかりとおさえておられたというのを、すごくうれしく思いました。市として、こういう機会をととても大事にするとともに、八幡市ではこういう充実した教育を進めているということも、もっとアピールしても良いのではないかと思います。

次の議題にもリンクするのですが、今日は、有都こども園に行かせていただきました。先月は、有都小学校に行かせていただいたところですが、有都こども園と有都小学校の交流は連携ぐらいですが、今、それでも他の園よりはたくさんされているかと思えます。けれども、やはりお話を伺っていると、「接続」という部分まで、教育の中身を話し合い、子どもの育ちを繋げていくということが、まだまだ出来ていないようなことをおっしゃっていました。

是非、これから保育園も一緒になって、「接続」、子どもの育ちを繋げるという部分で、いろいろな小学校と、幼児期の教育がお互いにそれぞれの教育のプロセスであったり、国が言っています「子ども像を共有する」ことで、取り組んでいかれたらいいのという思いがしました。今後、いろいろと、組織改革もごさいますし、是非、頑張っしてほしいと思うところです。ありがとうございます。

[教育長]

他に何かご意見、ご質問等はありませんか。無いようでありますので、これにて議題を終結させていただきます。

次に、4. その他に入らせていただきます。

本日の、「園・学校訪問について」ご意見等はいかがでしょうか。

4. その他

・園、学校訪問について

[狩野委員]

本日は、有都こども園と橋本小学校に寄せていただきました。各園では、運動会、運動参観が終わられたのですね。今日、寄せてもらったら、子どもたちが運動会の余韻で、すごく遊んでいるんですね。じっくりは、保育を見ていないのですけれども、その中で、年長さんに憧れて、年少さんや小さい子どもたちが、運動会の余韻の遊びを一緒にしていたかなと思います。リレーひとつとっても、積み重ねてきているので、すごくしっかりと手を振って走っている子と、そうでないような子も居たかなと思うんですね。本当に、教育の積み上げだなと思いながら見てきて、橋本小学校で、5年生が、今度また、運動参観に向けて取組をされているシーンを見させてもらいましたけれど、体幹が出来ている子と出来ない子が、私には顕著に目につきました。

やはり八幡の中で、こういうことを大事にして行こうねっていう積み上げをされるのが、大事ではないかなということをおもいました。決して、小学校の前どりを幼児期でやっていこうっていう、体力づくりを訓練する訳ではありません。けれども、やっぱり、小学校でこういう学習をしていくから、じゃあ、幼児期にはどういう遊びを通した学びをしていくのが、大事なのかということも、先ほどの件と絡めまして、幼児期の先生と小学校の先生が話し合うような機会が欲しいなということ、節に願っておりますので、今後もよろしくお願ひします。本当にね、子どもたちが生き生きと遊んでたということを見て来まして、その中には、主体的な姿っていうのが、多分にあったかなと思います。本当に大事にしていきたい柱の一つだと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

[教育長]

他に何かご意見、ご質問等はありませんか。

[橋本委員]

感想的なことしか申し上げられませんが、有都こども園の場合は、保育園と幼稚園、これを一体化して、先進的にこの方向に進めていくということも、期待を込めて、その辺りについて課題はありませんかという感じで、お伺いをしました。特に今年は、教育課程の充実というのを非常に感じておりますので、保育の部分と幼稚園の4時間の部分の教育課程については、かなり出来ているのではないかなと思います。今、狩野委員がおっしゃったように、幼少の連携という辺りの接続については、園長先生もおっしゃっていましたが、やはり、そういう交流の機会はやっているんだけれども、なかなかうまく続かない。自立し



たものに発展しないというところで、止まっているというような課題をおっしゃっていただきました。この辺りを突破していくということになると、難しいことではあります、やはり人事の交流というあたりがなされて、接続に結び付けていけるようなこと。これ非常に大きな法的な問題もあります。今後とも、そういう大きな視点で、国等に対しても、現場の状態から、下から、こういうところが解消できると、接続についての方向性が見えるかもしれませんよと、是非、我々に、先ほどの研究指定ではありませんけれども、研修させてくださいと、指定させてくださいということ。こういうような方向は望んでおられましたので、研究指定等に挙げていただいて、人、予算をいただけるようなことができたと思います。今、課題を克服する中で、一生懸命努力されているのですけれども、なかなかそこは越えられないということ、感じたところであります。

それからやはり少子化に向けて、異年齢の集団の中での交流はされていますけれども、大きな集団の中で育っていくという経験が少ないと思います。こういったものを八幡市全体としてどのように機会を作り、そこを育てるか、あるいは、八幡市だけでなくもっと広い交流の機会が必要なのかもしれませんし、イベントが必要なのかもしれません。少子化に対応する方策ですね、これも大きな子育ての大事な観点かなと思っています。

それから、橋本小学校のほうでありますけれども、ここでは、校長先生のマネジメントについてご紹介したいと思います。これは、校長先生が前から考え実施されておられる教科担任制についてです。八幡市内の学校ではどこでも進めておられると思いますが、2年生以上で実施しており、橋本小学校はある程度の規模があって、3クラス編成になっているということ。3クラスの担任が、教科担任制を組むということで、要は、他のクラスを見ることができるとのこと。この点が大きいことだと。つまり、学年でその担任全員が見るという学年指導体制ということ。ここが逆に大きいポイントでありますとおっしゃっていただきました。一人で見るとやはり偏ったものがあったり、相性の問題があったり、気づけない部分、あるいはフォローするところに欠ける部分もあるので、そういった学年体制というもの、教科担任制をとることによって、非常に実施できていると。それから、お互いに育ち合う機会にもなるということ。教材研究の機会も少し解消され、働き方改革にも資すると、こんなことをおっしゃっていただきました。

それから、やはり、教務主任なり、学年主任なり、特に学年主任については非常に大きい学年主体性でありますので、他の主任や別の役を持たせないで、学年主体に専念させると。そういうことによって、学年主任が複数やっていた役を若い人たちに分散させ、若い職員にも主任的な役割を与えることによって、若い先生が育つ機会になっていると。その辺りの職員の育成についてのマネジメントについて、力説されておられました。

それから、働き方改革を申しませんが、働き方改革については、八幡市で実施していただいた、午後5時以降の留守番電話ですか、あの制度は非常に良いと。これで大きく意識が変わったというか、早く帰るようになった、6時くらいにはみんな帰るという意識変革をもたらしたようであります。この辺りについても、特に言っておられましたので、働き方改革についての、成果について、ご報告しておきたいと思います。他もございます、以上です。

[教 育 長]

他に何かご意見、ご質問等はございませんか。無いようでありますので、4. その他を終結いたします。

次に、配布資料について、事務局より説明願います。教育総務課。

5. 配布資料

[長 尾 課 長]

失礼いたします。配布資料でございますけれども、定例教育委員会の9月分の議事録をお届けいたしております。

[教 育 長]

それでは、次回、定例教育委員会につきまして、説明をお願いします。

[長 尾 課 長]

次回の定例教育委員会の日程でございます。11月15日火曜日、午後3時から分庁舎2階、会議室Aで行います。学校訪問につきましては、10時30分から男山東中学校、11時30分から男山中学校となっておりますので、よろしくお願いいたします。

5. 閉会



[教 育 長]

議事等は以上でございますが、他に何かございますか。よろしいですか。
では、以上をもちまして、10年度の定例教育委員会を閉会させていただきます。ご苦
労ありがとうございました。

第六回徒然草エッセイ大賞応募状況について

番号	部門名	応募数	郵送	WEB	メール	市内	市外
1	一般の部	1,526	492	945	89	37	1,489
2	中学生の部	665	621	40	4	399	266
3	小学生の部	507	505	1	1	503	4
合計件数		2,698	1,618	986	94	939	1,759

テーマ 「願い」
募集期間 令和4年6月3日(金)から9月22日(木)まで
今後の予定 一次選考 令和4年10月下旬から11月
二次選考 令和4年12月上旬から令和5年1月上旬
最終選考 令和5年1月上旬から1月下旬
作品決定 令和5年2月上旬
授賞式 令和5年3月18日(土) 石清水八幡宮 清峯殿

(参考)

第一回徒然草エッセイ大賞応募状況について テーマ:出会い

番号	部門名	応募数	郵送	WEB	メール	市内	市外
1	一般の部	1,911	913	875	123	66	1,845
2	中学生の部	358	347	11	0	287	71
3	小学生の部	312	309	2	1	294	18
合計件数		2,581	1,569	888	124	647	1,934

第二回徒然草エッセイ大賞応募状況について テーマ:旅立ち

番号	部門名	応募数	郵送	WEB	メール	市内	市外
1	一般の部	1,048	523	465	60	24	1,024
2	中学生の部	362	359	3	0	359	3
3	小学生の部	626	623	3	0	619	7
合計件数		2,036	1,505	471	60	1,002	1,034

第三回徒然草エッセイ大賞応募状況について テーマ:発見

番号	部門名	応募数	郵送	WEB	メール	市内	市外
1	一般の部	1,612	763	789	60	27	1,585
2	中学生の部	390	385	5	0	266	124
3	小学生の部	774	769	5	0	767	7
合計件数		2,776	1,917	799	60	1,060	1,716

第四回徒然草エッセイ大賞応募状況について テーマ:変化

番号	部門名	応募数	郵送	WEB	メール	市内	市外
1	一般の部	1,986	795	1,101	90	29	1,957
2	中学生の部	813	808	5	0	453	360
3	小学生の部	765	762	3	0	760	5
合計件数		3,564	2,365	1,109	90	1,242	2,322

第五回徒然草エッセイ大賞応募状況について テーマ:つながり

番号	部門名	応募数	郵送	WEB	メール	市内	市外
1	一般の部	1,795	690	1,034	71	13	1,782
2	中学生の部	342	325	15	2	226	116
3	小学生の部	596	594	2	0	590	6
合計件数		2,733	1,609	1,051	73	829	1,904

八幡市図書館協議会委員名簿

任期：令和3年12月1日～令和5年11月30日

◎会長 ○副会長

選出分野	委員氏名	就任	
学識経験者	◎ ^{コマキ} 小牧 ^{ケニ} 久仁 元八幡市立小学校校長	平成29年	3期
社会教育団体	○ ^{ヨシカワ} 吉川 ^{エイキ} 栄樹 青少年育成団体	平成30年	3期
	^{ヤマモト} 山本 ^{ハルコ} 晴代 朗読ボランティアサークル	令和元年	2期
	^{イノウエ} 井上 ^{サオリ} 早織 PTA連絡協議会	令和4年	1期
	^{オオサワ} 大澤 かおり 女性団体代表	令和3年	1期
	^{サイノウ} 齊藤 ^{ヨコ} 陽子 八幡おはなしの会	令和4年	1期
学校関係	^{マツダ} 松田 ^{ユキオ} 行生 校長会	令和3年	1期
市民公募	^{ヒライ} 平井 ^{ナホ} 菜穂 市民公募	令和3年	1期